

ふだんのくらしのしあわせのために

「福祉」はその単語の頭文字を使い『ふだんくらしのしあわせ』と紹介されることがあります。福祉教育は、普段の暮らしの幸せをつくるための学びです。

地域に暮らす障害のある人や高齢者を含め、様々な人と関わり学ぶことを通して多様な生き方にふれ、命の大切さや思いやりの心、相手を理解しようとする豊かな心を育むことにつながります。

本村では、産山学園と連携し地域の協力を得ながら一人暮らしの高齢者宅での草取りや窓拭きのお手伝い、福祉施設の訪問、地域サロンへの参加や学園サロンの開催といった世代間交流を通じてヘルパー活動を行う

「子どもヘルパー事業」を実施してきました。

福祉に関することやボランティアのことなどを知りたい方や学んでみたい方は、お気軽にご相談ください。

問 産山村社会福祉協議会

☎ 23・9300



ヘルパー活動の様子



社協に寄せられた 善意の寄付【9月分】

毎月「福祉のためにぜひ役立てて下さい」と、たくさんの善意をお寄せ頂いております。その主旨に沿うように、地域福祉の発展のために有効に活用させていただきます。

【香典返し】

高橋 弘子 様より（上山鹿西）
故）保生 様分として
工藤 富美男 様より（牧野）
故）富士男 様分として
竹下 忠志 様より（上平川）
故）幸子 様分として
心から感謝申し上げます。
ありがとうございました。

令和4年度産山村民生委員児童委員協議会視察研修会

9月21日（水）、産山村民生委員児童委員協議会の視察研修会として人吉市社会福祉協議会を訪問しました。

とても有意義な研修会となりました。

本研修は各委員のスキルアップと意識向上を目的に実施されており、今回は人吉市民生委員児童委員協議会各校区の会長様より令和2年7月に発生した豪雨災害時の様子や発災後の民生委員活動など詳しく内容をご説明いただき、改めて災害の恐ろしさや発災後の活動の重要性など学ぶことができました。

今回の研修で学んだことを今後の民生委員児童委員としての地域活動に積極的に生かしていきたいと思います。

